

ALOS-2/PALSAR-2 データを用いた 2015 年ネパール地震による地すべり性地表変動
検出の可能性
Detectability of landslide surface deformation triggered by 2015 Nepal earthquake using
ALOS-2/PALSAR-2 data

佐藤 浩^{1*}; 宇根 寛²
SATO, Hiroshi, P.^{1*}; UNE, Hiroshi²

¹ 日本大学文理学部, ² 国土地理院

¹College of Humanities and Sciences, Nihon University, ²Geospatial Information Authority of Japan

2015 年ネパール地震 (M_w 7.8; USGS, 2015) はカトマンズの北方から約 30km 東方にかけての広い領域で著しい地殻変動を生じ、その変位は最大で 1.2m 以上あったことが報告されている (国土地理院, 2015)。これらの変動とは別に、ランタン国立公園のランタン村周辺で地すべり性地表変動があり、カトマンズ市内では地盤沈下があったと報告されている (JAXA, 2015)。また、Web で公開されている Digital Globe 社の地震前後の高解像度光学画像を比較して判読すると、地震によって生じた可能性の高い地すべり性地表変動が見出せた。そこで、ALOS-2/PALSAR-2 データから生成した SAR 干渉画像とこれらの地点を重ね合わせ、その変動の検出の可能性を検討する。

引用文献

国土地理院 (2015): <http://www.gsi.go.jp/cais/topic150429-index.html>

JAXA(2015): http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS-2/img_up/jdis_pal2_npl-eq_20150426_2.htm

USGS(2015): <http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/eqarchives/poster/2015/20150425.php>

キーワード: 地震, 地すべり, 変動, ALOS-2, PALSAR-2, SAR

Keywords: earthquake, landslide, deformation, ALOS-2, PALSAR-2, SAR